

一九九八年四月二十五日
発行



第81卷 第3号 史学・地理学・考古学

論 説

- 牒・告書・下文川 端 新 (1)
——莊園制的文書体系の成立まで——
- 立憲王政下フランスにおけるイエズス会神話上 垣 豊 (41)
——モンロジエからミシュレまで——
- 近代英国における海難対策の形成金 澤 周 作 (77)
——レッセ・フェールの社会的条件——

研究ノート

- 「蔵人式」と「蔵人所例」の再検討西 本 昌 弘 (108)
——『新撰年中行事』所引の「蔵人式」新出逸文をめぐって——
- 江戸幕府前期の「御用」について藤 井 讓 治 (128)

書 評

- 元木泰雄著『院政期政治史研究』高 橋 秀 樹 (145)

紹 介

- アントニオ・ダ・クレマ著 (ガブリエーレ・ノリ編) 『一四八六年の聖地巡礼記』
(Antonio da Crema, *Itinerario al Santo Sepolero 1486*, a cura di Gabriele Nori)
(高田京比子)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

受贈図書

(一九九七年一月六日)
一九九八年一月六日)

- 立命館産業社会論集(立命館大学産業社会学会) 三三三—二
- 増谷文庫目録(三康文化研究所) 平成九年
- 韓国史研究彙報(国史編纂委員会) 九八
- 西伯(西伯社) 三
- 福岡大学人文論叢(福岡大学総合研究所) 二九—二
- 立命館史学(立命館史学会) 一八
- 一橋論叢(一橋大学一橋学会) 一一八—
- 五・六、一一九—
- 福建師範大学学報(福建師範大学) 一九九
- 七—二・三
- 駁台史学(駁台史学会) 一〇—
- 経営学論集(龍谷大学経営学会) 三七—
- 一・二
- 考古人類学刊(国立台湾大学文学院) 五二
- アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究所) 八八
- 一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委員会) 二二—三
- 史遊(京都教育大学歴史・地理学研究会)

六

青丘學術論集(財) 韓国文化研究振興財

團) 一一

- 古代史研究(古代史研究会) 一五
- 研究紀要(新潟県立文書館) 四
- 同朋大学論叢(同朋学会) 七六
- 鹿児島経大論集(鹿児島経済大学経済学会) 三八—二
- 立命館文学(立命館大学人文学会) 五五—
- 文学会志(山口大学文学会) 四八
- 大美和(大神神社社務所) 九四
- 日本学士院紀要(日本学士院) 五二—一
- 人文地理(人文地理学会) 四九—五
- 人文学(同志社大学人文学会) 一六—二
- 南方文化(天理南方文化研究会) 二四
- 神道史研究(神道史学会) 四五—四
- 東方学会報(東方学会) 七三
- 清代閩粵郷族性衝突之研究(国立台湾師範大学歴史研究所) 二七
- 歴史学報(国立台湾師範大学) 二五
- 平城宮発掘調査出土木簡概報(奈良国立文化財研究所) 三三
- 女子短期大学部紀要(札幌大学) 三〇
- 札幌大学総合論叢(札幌大学) 四

「史林」投稿規定

- ◇資格 本会会員であること。
- ◇投稿受付原稿の種類、長さ
- 論説 四〇〇字詰八〇枚以内
- 研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内
- 研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内
- 書評 四〇〇字詰二〇枚以内
- 紹介 四〇〇字詰三枚程度
- ◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」を添付のこと。
- ◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。
- ◇注は各章末に入れること。
- ◇ワープロ原稿の場合には、フロッピー(MS-DOSのテキストファイル、機種を明記する)を添付のこと。
- 送り先 史林編集委員会
〒606-8502 京都市左京区吉田本町
- 御注意
図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。

『史林』 図版投稿規定

図版の掲載を希望される場合、編集委員
会では印刷用図版の作成を一件につき五、
〇〇〇円で請け負っております。投稿者自
身で作成される場合は以下の事項にご留意
ください。また、投稿された図版に不備の
ある場合は投稿者に修正を要求するか、編
集委員会が修正いたします。但し、この際
の経費は投稿者に負担していただきます。

◇図を作成する際、トレーシングペーパー
や製図用ケント紙などに、製図用インキ
を用いて明瞭に描くこと。線の太さを一
定に保つために製図用ペンを使用するこ
とが望ましい。

また、できる限り刷り上がり予定寸法
の二倍程度（面積では四倍）で描き、希
望縮小率を示すこと。

◇図中の文字は写真植字を用いて印刷する
ので、鉛筆書きにするか、もう一枚ト
レーシングペーパーを重ね該当箇所に文
字のみ書き入れること。

なお、インスタントレタリングやタイ
プ・ワープロ文字を用いる場合には原図
に直接貼り付けること。この場合は仕上

がり段階での鮮明度に注意すること。

◇写真の場合は写真原版が十分鮮明で明暗
のコントラストが明瞭なものであること。
刷り上がり予定寸法の一―二倍程度の版
が望ましく、希望縮小率を示すこと（巻
頭にアート紙を用いて掲載することを希
望される場合は、割付・仕上がり等につ
いては編集委員会で調整します。また、
掲載に関わる経費が投稿者負担になるこ
とがあります）。

コピーされた図も十分鮮明なものであ
ること。不鮮明な部分がある場合は、掲
載の主旨を損ねない程度に修正を加えて
おくこと。

◇表については、刷り上がり前の段階を考え
て大きさ・表現方法に留意すること。投
稿された表そのものの掲載を希望される
場合は、その旨を明記し、図に準じた体
裁を整えること。

◇本文中に図表の割付箇所を明記すること。

編集後記

本号は日本史・西洋史の二本立てとなり
ましたが、力作をそろえることができまし
た。私は今回初めて編集担当になりました、
とまどうことも多かったです。出来映
えはどうでしょうか。あとは皆さまのお手
元に一日も早く届くことを願うのみです。
今年はいエルニーニョ現象とやらで、春先
から暑い日が続いて少し辟易気味です。本
号完成の頃にはどんな空模様になっている
のでしょうか。（さ）

本誌には文部省科学研究費補助金研究
成果公開促進費が交付されております。

一九九八年四月二五日印刷 定価二二〇〇円
一九九八年五月一日発行 送料六〇〇円
史 林 第八一巻第三号（通巻第四〇九号）

発行人 史 学 研 究 会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
振替京都〇一七〇二二五二五五番
理事長 間 野 英 二

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽菜田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXI No. 3

May 1998

CONTENTS

Articles :

- KAWABATA Shin : Towards the Systematization of Shoen-related Documents (1)
- UEGAKI Yutaka : Le mythe jésuite sous la monarchie constitutionnelle : De Montlosier à Michelet (41)
- KANAZAWA Shusaku : The Formation of Policy for the Preservation of Life and Property from Shipwrecks
—The Social Conditions of 'Laissez-faire'— (77)

Notes :

- NISHIMOTO Masahiro : A Re-examination of “Kurodo-shiki 藏人式”
and “Kurododokoro-rei 藏人所例”
—The recently discovered “Kurodo-shiki” of the “Shinsen-nentyugyozi 新撰年中行事”— (108)
- FUJII Joji : Concerning the “Goyo 御用” of the Early Edo Bakufu (128)

Book Reviews :

- MOTOKI Yasuo : Research on the Political History of the Insei 院政 Period (TAKAHASHI Hideki) (145)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369